

各位

2022年05月11日

横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

株式会社 ソディック

代表取締役社長 古川 健一

電話 045-942-3111 (代)

東証プライム市場(証券コード6143)

リモートオフィス仕様の新サービスカー採用のお知らせ コロナ禍における接触機会の低減に加え、車内業務環境の整備を通じ 労働時間短縮、ワークライフバランス (WLB) を推進

この度弊社では、リモートオフィスとしても活用できる新サービスカーを導入、5月下旬より10台(順次拡大予定)の運用を開始いたします。

同サービスカーは、日産の小型商用車「NV200」をベースにしたもので、リモートワーク用の机と椅子を後部座席スペースに設置しています。小型プリンタやノートパソコンを置いて通常のオフィス同様の環境で作業をすることができます。走行時に自動充電されるオフィス機器向け専用バッテリーを搭載しており、フル充電時には約10時間のパソコン作業が可能です。

今回のリモートオフィス仕様の新サービスカー導入は、コロナ禍における接触機会低減や業務効率化を目的としたもので、車内で快適に業務を行える環境を整えることで、労働時間を短縮し、ワークライフバランス (WLB) の推進に寄与していきます。

■新サービスカーの導入背景と概要

当社は、企業イメージ向上と安全運転への意識向上を目的として、2020年より、サービスカーのボディーを先進的なデザインに刷新しています。同時に、使いやすい可変性荷室の採用や、コロナ禍とともに定着してきた新しい働き方である「リモートワーク」に対応すべく、移動先車内でのパソコン作業を想定したコンセプトカーの開発を進めてきました。

今回の新サービスカー導入にあたっては、当社の重要施策「サービスの質向上」の一環である、「きれいに整理整頓されている荷室は、ユーザーへのサービス向上につながる」という考え方をベースに、実際に運用する現場の社員の意見を積極的に取り入れました。重い荷物の積込・積出時の負担を軽減する低床設計を採用、また、放電加工機、MC、射出成形機、食品機械の部品や工具、検査機器など、大きささまざまな荷物に対応できる「可変性荷室」を設置しました。荷室は3段に仕切られ、各段の棚板を2分割することもできる仕様で、寸法の異なる荷物の積載がスムーズにできます。

当社では、今後、新サービスカーを実際に利用したサービススタッフの意見・要望を取り入れながら、さらなる改良を図るとともに、運用台数の拡大も進める予定です。

そして、「サービスの事業化」や「お客様の満足を向上させ競争優位性を強固なものとする」という事業方針を具体的な施策を通じ推進することで、企業価値向上につなげていきます。

■新サービスカーの外観、車内の仕様



運転席の後ろにあるリモートオフィス空間。作業机の下に専用バッテリーを設置し、快適に業務を行うことが可能。



さまざまなサイズに対応できる可変性荷室。低床設計により重い荷物の積込時の負担を軽減。

■お問合せ先

株式会社ソディック 広報室
TEL : 045-942-3111 (大代)

以上